

中遠地域の農業・林業の話題をお届けします！



きらり中遠 ホットニュース

令和3年6月28日 発行（第2号）

* 情報 * 倉沢の棚田で田植えが行われました

5月29日（土）に菊川市倉沢の棚で田植えが行われました。

ここは静岡県棚田等十選に選定されており、NPO 法人せんがまち棚田倶楽部や静岡大学棚田研究会が中心となって保全活動を行っています。

当地域では棚田の保全活動を通じ、多様な人々の参加による地域活動が行われており、「千框の棚田」として「ふじのくに美しく品格のある邑」に登録されています。

本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、棚田オーナーと地域住民のみの参加で田植えを行いました。現在はほとんど機械で行われる田植えを、手で植える昔ながらの方法で体験することができました。

また、子供たちは、ニホンアカガエルやアカハライモリなど普段目にするののない「田んぼの生き物」に大興奮。帰りには棚田女性部手作りの「黄な粉餅」をお土産に頂き、楽しい1日を過ごしました。

今後は10月の稲刈りに向け、7月3日（土）、8月7日（土）、9月4日（土）に棚田保全のため草刈りを行う予定です。当所では棚田の保全活動を支援していきます。

（農村整備課）



* 取組 * 「本気の農業経営改革セミナー」第1回目を開催しました

令和3年6月15日（火）、JA遠州夢咲営農会議室（掛川市三俣）で、静岡県農業振興公社と当所の共催により第1回目「本気の農業経営改革セミナー」を開催しました。

農家の農業経営者としての考え方や経営管理手法を指導し、受講者の経営の安定と収量の向上を図ることが目的です。講師は農業経営アドバイザーの佐々木敦史氏で、18人が受講しました。

セミナーでは、経営者に共通する「出来る人の考え方」を学び、10年後も見据えた経営をするための各自ワーキングを行いました。3時間と長時間でしたが、いずれの受講生も集中し、真剣に取り組んでいました。

月1回、全5回の開催で、次回は7月中～下旬の予定です。今後も当所は受講生を本気で支援していきます。

（生産振興課）



* 取組 * バイ・シズオカの一環として管内農産物の斡旋を行いました

当所は地産地消「バイ・シズオカ」の一環として、西部地域局と連携し、管内農産物の斡旋を行いました。磐田財務事務所、西部健康福祉センター、袋井土木事務所、農林技術研究所などに呼びかけ、第1弾では静岡県温室農業協同組合のアローマメロン、クラウンメロンを65個、佐々木製茶のお茶等を112個、所内限定の番外でJA経済連の5JAお茶飲み比べセットを20個、やぎバラ育種農園のバラのブーケを12個、総額43万円余を販売することができました。

今後も当所は管内生産者を応援、そして地産地消の取組を推進していきます。

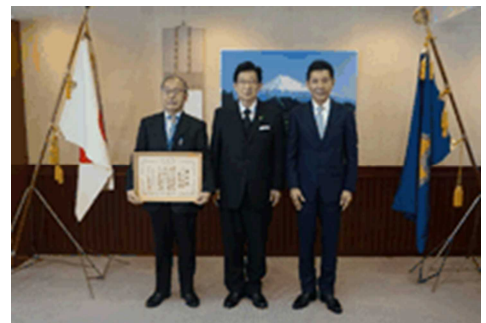


(企画経営課)

* 情報 * 知事顕彰受賞の朝比奈（御前崎市）が知事を表敬訪問しました

令和2年度に「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」の知事顕彰を受賞した邑「朝比奈」の代表者らが、知事を表敬訪問しました。

県内35市町が設立した「ふじのくに美しく品格のある邑づくり連合」では、毎年度、様々な人たちが参画した邑づくりの先導的かつ象徴的な事例として、活発で発展的な活動に取り組む邑に対し、知事顕彰を行っており、令和3年3月に「朝比奈」が受賞しました。



「朝比奈」は、御前崎市北部牧野原台地の南端に位置する緑豊かな里山で、平成の初め、かつて地域の水源であった里山を開発計画から守るため、住民自ら立ち上がったのが始まりです。

この地域の活動に対し、以下の点が高く評価され受賞に至りました。①茶畑・水田・里山の風景と太平洋を望む特徴的な農村景観を後世に残すため、地域が守っている②「あらさわふる里公園」が地域の交流拠点として定着し、今後も良好な景観の維持が期待できる③特産である茶、遠州夢咲牛、メロン、米など、複数の生産者が地域の経済を主導している

知事から邑へ、農業は日本の誇るべき匠の仕事であり、この素晴らしい農業農村を次世代まで引き継いでほしい、という激励の言葉が贈られました。この受賞を励みに、地域全体で地域を守っていくという思いのもと、今後も「朝比奈」が益々発展するよう、当所でも積極的にサポートしていきます。

(農村整備課)

発行：静岡県中遠農林事務所

〒438-8558 静岡県磐田市見付3599番4号 電話 0538-37-2272 (企画経営課)

E-Mail: nourin-chuen-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp URL: <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-760/>